

茨城工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	機械・制御工学英語		
科目基礎情報							
科目番号	0130		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位II: 1			
開設学科	国際創造工学科 機械・制御系(制御コース)		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	前期:1			
教科書/教材							
担当教員	加藤 文武						
到達目標							
<p>科学技術（機械工学含む）に関する英語の語彙を増やす。  科学技術（機械工学含む）に関する英語のコンテンツが理解できる。  科学技術（機械工学含む）に関する基本的かつ簡単な内容を英語で表現できる。</p>							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	科学技術（機械・制御工学含む）に関する英語の語彙を増やすことができた。		科学技術（機械・制御工学含む）に関する英語の語彙をある程度理解した。		科学技術（機械・制御工学含む）に関する英語の語彙を増やすことができていない。		
評価項目2	科学技術（機械・制御工学含む）に関する英語のコンテンツが理解できた。		科学技術（機械・制御工学含む）に関する英語のコンテンツがある程度理解できた。		科学技術（機械・制御工学含む）に関する英語のコンテンツが理解できていない。		
評価項目3	科学技術（機械・制御工学含む）に関する基本的かつ簡単な内容を英語で表現できた。		科学技術（機械・制御工学含む）に関する基本的かつ簡単な内容を英語である程度表現できた。		科学技術（機械・制御工学含む）に関する基本的かつ簡単な内容を英語で表現できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (C)							
教育方法等							
概要	<p>専門用語、科学技術的記述等の英語表現を学ぶ。  英語の科学技術コンテンツ（文書、ビデオ等）を理解できるようにする。  英語によるリスニング、リーディング、ライティングおよび簡単なスピーキングについて学ぶ。</p>						
授業の進め方・方法	<p>毎回配付する資料およびコンテンツ等を用いて科学技術英語表現を学ぶとともに、最近の国内外における科学技術動向についても触れる。  注意点技術英語学習におけるインプット(リーディング、リスニング)をしっかり行い、最終的にアウトプット(ライティング、スピーキング)が行えるように意識すること。</p>						
注意点	<p>機械・制御工学関連の分野に関する英語コンテンツを主に取り扱うが、関連する他分野の内容についてもふれるので、積極的に興味を持って取り組んでほしい。</p>						
授業の属性・履修上の区分							
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	英語による専門用語、表現学習 1	専門用語の語彙・イディオムを増やす。			
		2週	英語による専門用語、表現学習 2	専門用語の語彙・イディオムを増やす。			
		3週	英語による専門用語、表現学習 3	専門用語の語彙・イディオムを増やす。			
		4週	英語による専門用語、表現学習 4	専門用語の語彙・イディオムを増やす。			
		5週	英語による専門用語、表現学習 5	専門用語の語彙・イディオムを増やす。			
		6週	英語による専門用語、表現学習 6	専門用語の語彙・イディオムを増やす。			
		7週	英語による専門用語、表現学習 7	専門用語の語彙・イディオムを増やす。			
	2ndQ	8週	英語による科学技術コンテンツ学習 1	英語による科学技術コンテンツを理解し、表現できるようになることを目指す。			
		9週	英語による科学技術コンテンツ学習 2	英語による科学技術コンテンツを理解し、表現できるようになることを目指す。			
		10週	英語による科学技術コンテンツ学習 3	英語による科学技術コンテンツを理解し、表現できるようになることを目指す。			
		11週	英語による科学技術コンテンツ学習 4	英語による科学技術コンテンツを理解し、表現できるようになることを目指す。			
		12週	英語による科学技術コンテンツ学習 5	英語による科学技術コンテンツを理解し、表現できるようになることを目指す。			
		13週	英語による科学技術コンテンツ学習 6	英語による科学技術コンテンツを理解し、表現できるようになることを目指す。			
		14週	英語による科学技術コンテンツ学習 7	英語による科学技術コンテンツを理解し、表現できるようになることを目指す。			
		15週	レビュー	レビューを行う。			
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	課題レポート	ディスカッション	合計
総合評価割合	0	0	0	0	70	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	30	10	40

專門的能力	0	0	0	0	30	10	40
分野横断的能力	0	0	0	0	10	10	20